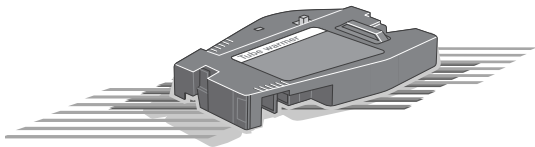


チューブウォーマ

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管ください。



もくじ

1	安全にお使いいただくために	2
2	お使いになるまえに	6
	そろっていますか？	6
	各部の名称とはたらき	7
3	使ってみよう	8
	チューブウォーマを使う	8
4	こんなときには	10
	チューブウォーマを取り外すときは	10
	チューブが排出/搬送されないときは	10
	その他のこんなときは	12
5	お手入れ	14
	チューブウォーマのお手入れ	14
	チューブクリーナーのお手入れ	14
6	おもな仕様	15

寒いときでもきれいに印字

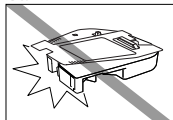
チューブウォーマは寒さで堅くなったチューブを温めるための装置です。チューブウォーマを使うと、低温環境でもきれいに印字できるようになります。

1 安全にお使いいただくために

チューブウォーマを安全にお使いいただくために、つぎのことを必ずお守りください。

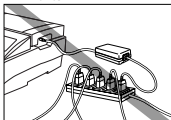
⚠警告

分解や改造をしないで



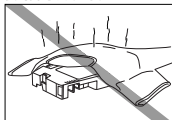
内部には高電圧、高温部分があり、接触すると感電ややけどをします。火災の原因にもなりますので、絶対に分解や改造をしないでください。

タコ足配線などをしないで



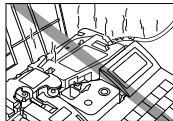
二股ソケットなどを使ってタコ足配線をしないでください。また、電源コードを束ねたり、結んだりしたまま通電しないでください。火災や感電の原因になります。

使用目的以外で使わないで



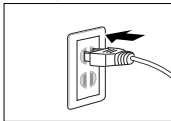
本機は本書に書かれている以外の目的で使わないでください。故障や火災の原因になります。

電源を入れたままにしないで



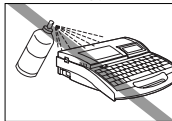
チューブをセットしたままの状態でも電源を入ればなしにしないでください。チューブが過熱すぎて火災の原因になります。

プラグは確実に差し込んで



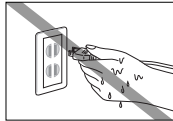
ACアダプタのプラグは確実に電源コンセントに差し込んでください。火災や感電の原因になります。

スプレーなどは使わないで



本機のそばで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスが内部部品に触れて、火災や感電の原因になります。

濡れた手で触らないで



手が濡れた状態でACアダプタのプラグなどを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

熱器具のそばで使用しないで



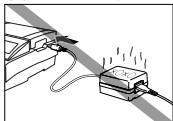
熱器具のそばで本機を使わないでください。コードなどが溶けて火災や感電の原因となります。

お手入れのときは電源をOFFに



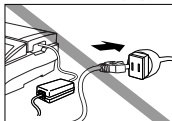
清掃するときは電源スイッチをOFFにし、ACアダプタのプラグを電源コンセントから抜いてください。

専用のアダプタ以外は使わないで



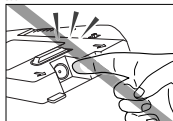
ACアダプタは必ず専用のものをお求めください。他のACアダプタをご使用になると、故障の原因となるばかりでなく、過熱するおそれもあり大変危険です。

AC100~240Vの電源を使って



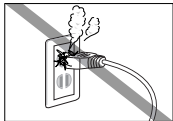
AC100~240V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

指を入れないで



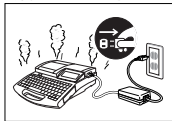
電源がONのとき、チューブ挿入口やチューブ排出口に指を入れないでください。やけどの原因となります。

ACプラグは常にキレイに



ACアダプタのプラグは定期的に清掃してください。ホコリや汚れ、油煙などが付着した状態で長時間使用すると、ホコリが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

異常状態のときは電源をOFFに



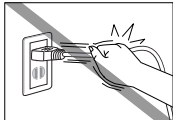
発煙、異臭のときはすぐに本体の電源スイッチをOFFにし、電源コンセントからACアダプタのプラグを抜き、お近くの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

シンナーなどに要注意



アルコールやシンナーなど引火性溶剤の近くで使用しないでください。溶剤が内部に入ると火災の原因になります。また、本機を拭くときは、水にしみらせて固くしぼったガーゼを使用し、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。溶剤が内部の電気部品に触れて火災や感電の原因となります。

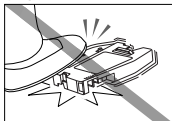
ACアダプタの扱いはていねいに



電源プラグをコンセントから抜くときは、コードではなくプラグ部を持ってまっすぐに抜いてください。コードが傷つくとき火災や感電の原因になることがあります。また、ACアダプタを抜き差しするときは、必ず本機の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。

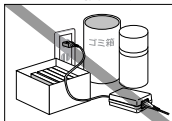
⚠注意

取り扱いはやさしく



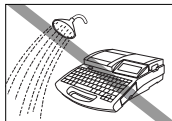
本機に強い力や衝撃などを与えないでください。故障の原因になることがあります。

コンセントの周囲は整頓して



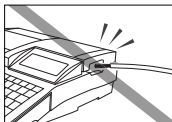
いつでもすぐにACアダプタのプラグが抜けるように、そばにものを置かないでください。異常時にプラグが抜けないと、火災や感電の原因になることがあります。

湿度やホコリに注意して



高温高湿の場所、ホコリの多いところ、直射日光の当たる場所、火気の近くでは使用（または保管）しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

チューブ以外のものを入れないで



本機はチューブを暖めるための装置です。電線やケーブルなどはセットしないでください。故障や火災の原因となることがあります。

未使用時はコンセントから抜いて



長期間ご使用にならないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。漏電などの原因になることがあります。また、ホコリなどがたまって、火災の原因にもなります。

マークの意味

本書で使われているマークはつぎのような意味です。



警告マーク

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意マーク

取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



メモマーク

知っていると便利な情報や操作の補足説明が書かれています。必要に応じてお読みください。



?マーク

困ったときのヒントなどが書かれています。



キーボード

プリンタのキーボードのXXキーを押すことを意味します。

2

お使いになるまえに

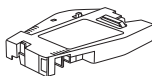
本製品をお使いになるまえに知っておいていただきたいことや、しておかなければいけない準備作業について説明します。

■ そろっていますか？

つぎのものがそろっているかどうか確認してください。足りないものがあるときは、お近くの販売店までご連絡ください。

チューブウォーム

チューブウォーム本体です。



取扱説明書（本書）

チューブウォームの操作方法、使用にあたっての注意事項が書かれています。



ACアダプタ*、電源コード*

プリンタに電力を供給します。



印刷注意ラベル

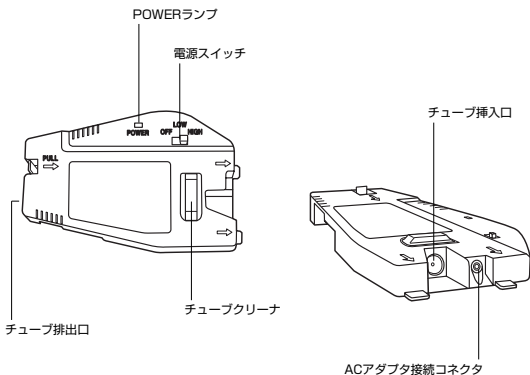
印刷時に守っていただきたい注意が書かれています。

プリンタ本体のカバーなど目立つ位置に貼ってください。

チューブをセットしたら30秒以内に印刷してください。
Print within 30 seconds when tube is ready.

*ご購入の製品によっては、同梱されていない場合があります。

■ 各部の名称とはたらき



電源スイッチ

チューブウォーマの電源をOFFにしたり、暖める温度をLOW（低温）とHIGH（高温）の2段階に切り替えます。

POWERランプ

チューブウォーマが暖まるまで点滅し、完全に暖まると点灯に変わります。

チューブクリーナ

チューブ表面に付いた汚れを除去します。

チューブ挿入口

ここからチューブをチューブウォーマ内部に入れます。

チューブ排出口

ここから暖められたチューブが排出されます。

ACアダプタ接続コネクタ

ここにACアダプタのプラグを差し込みます。

3

使ってみよう

チューブウォーマをチューブプリンタ本体にセットし、チューブを挿入して、電源をONにする一連の手順について説明します。

Memo

プリンタ本体にチューブがセットされているときは、10ページ「チューブを取り出すときは」を参考に、いったん印刷媒体を取り外してください。取り外した後、チューブウォーマを取り付けます。

Memo

ACアダプタは本製品用のものをご使用ください。ご購入の製品に同梱されておらず、別途お求めの際にはお近くの販売店にお問い合わせください。

Memo

外気温度が約15℃のときは電源スイッチを「LOW」の位置に、外気温度が約5℃のときは「HIGH」の位置に合わせます。

Memo

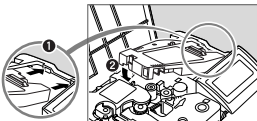
チューブウォーマは完全に暖まるまで数分かかります。ランプが点灯が変わると暖め完了です。暖め時間は外気温度によって異なりますが、約5℃のときで最高120秒です。

■ チューブウォーマを使う

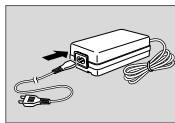
チューブウォーマをプリンタ本体にセットします。

1 チューブウォーマを取り付ける。

- チューブウォーマのつめをプリンタ本体の穴に合わせ、カチッと音がするまで押す。



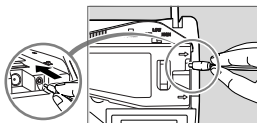
2 電源コードをACアダプタに接続する。



確実に差し込む。

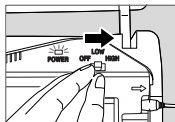
3 ACアダプタを接続する。

- ACアダプタのプラグをチューブウォーマに接続したあと、コンセントに差し込む。



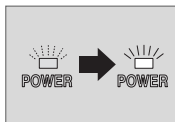
4 チューブウォーマの電源をONにする。

- 電源スイッチを「LOW」の位置に合わせる。



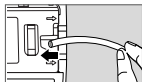
5 POWERランプを見る。

- POWERランプが点滅から点灯に変わるまで待つ。



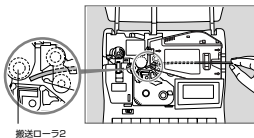
Memo

反ったチューブを挿入するときは下の図のような向きで挿入してください。



6 チューブを挿入する。

- チューブウォーマのチューブ挿入口からチューブを挿入し、搬送ローラ2につきあたるまで押し込む。



7 印字操作を行う。

- プリンタ本体の取扱説明書に従って印字操作をする。

注意 暖まったらなるべく早く印字して

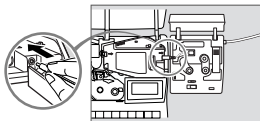
チューブウォーマが暖まったら、できるだけ速やかに印字を行ってください。チューブをしばらく暖めたままにしてから印字を行うと正しく印字できないことがあります。また、熱によって柔らかくなりすぎたチューブが正しく搬送されないこともあります。

Hint きれいに印字できないときはココをチェック！

チューブウォーマが暖まったらすぐに印字しているにもかかわらずきれいに印字できないときは、正しい温度に設定しているかどうか確認してください。外気温度が約15℃のときは電源スイッチを「LOW」の位置に、外気温度が約5℃のときは「HIGH」の位置に合わせます。

Hint チューブフィーダを併用するときは

チューブウォーマと一緒にチューブフィーダ（別売のオプション）も併用するときは、チューブフィーダから電源を供給しますので、ACアダプタは使用しません。チューブフィーダとチューブウォーマは図のように接続してください。



4

こんなときには

チューブの取り外しかたのほかに、チューブが詰まったり、きれいに印字できないなどのトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

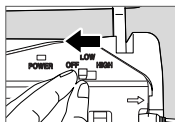
■ チューブを取り出すときは

チューブをプリンタ本体から取り外すときはつぎのようにしてください。無理に取り出すとチューブ詰まりとなるばかりでなく、故障の原因ともなりますので必ず手順に従ってください。

詳細についてはプリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

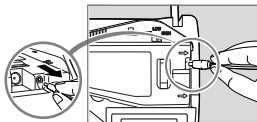
1 プリンタのカバーを開け、チューブウォーマの電源をOFFにする。

- 電源スイッチを「OFF」の位置に合わせる。



2 ACアダプタを外す。

- ACアダプタのプラグをチューブウォーマから外し、カバーを閉める。



3 [取出し]を押す。

- 確認画面が表示される。

4 [◀]または[▶]を押して「はい」を選択し、[Enter]を押す。

- 手順3で右の画面のように「[取消] [Enter]」が表示された場合は、「[Enter]」を押す。
- チューブが搬送ローラから解放される。

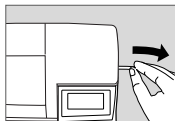
印字媒体を取出しますか？

はい いいえ

取出し

[取消] [Enter]

5 チューブを引き抜く。



Memo

[Enter]を押した後、プリンタの動作が止まっても、チューブまたはラベルテープが搬送ローラから解放されない（取り出せない）場合は、フィード機能を使います。「チューブが排出／搬送されないときは」をご覧ください。

Memo

例えば、次のようなときに、フィード機能を使います。

【例】

- 印字媒体を交換するとき、「取り出し」を実行しても、搬送ローラから印字媒体から解放されず取り出せないときに使う。
- 印字実行し、プリンタが動作しているのに印字物が排出口から出てこないときに使う。
この場合は、チューブがプリンタ内部で詰まっている可能性があるため、カバーを開けて詰まっているかを確認し、詰まっているときの対処に使う。詳しくは、プリンタ本体の取扱説明書「チューブやラベルテープが詰まったら」をご覧ください。

■ チューブが排出／搬送されないときは

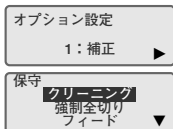
プリンタの「フィード」機能を使うと、プリンタにセットしたチューブを任意に搬送することができます。

ただし、この機能は、チューブが思った通りに排出／搬送されないなどの場合にお使いください。フィードし続けると、印字媒体を傷つけたり、リボンカセットのリボン巻き込んで詰まりの原因になったりすることがあります。詳細についてはプリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

1 印字中など、プリンタが動作している場合は、「ビビビッ」と音がするまで**[取消]**を押す。
プリンタの電源が切れている場合は、電源を入れておく。

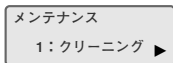
2 **[オプション]**または**[保守]**を押す。

- ご使用のプリンタに**[オプション]**がない場合に**[保守]**を押す。



3 手順2で**[オプション]**を押した場合**[◀]**または**[▶]**を押して「3: メンテナンス」を選択し、**[Enter]**を押す。

- 手順2で**[保守]**を押した場合は手順4へ進む。



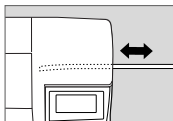
4 **[▶]**、**[◀]**または**[▼]**、**[▲]**を押して「フィード」を選択し、**[Enter]**を押す。

- 「順送り」と「逆送り」の操作方法が表示される。



5 **[▶]**または**[Alt]+[▶]**を押し続け、チューブを逆送りする。
チューブをプリンタの排出口側に搬送するときは、**[◀]**または**[Alt]+[◀]**を押す。

- 手順4で表示された画面のキー操作に従って押す。
- チューブを取り出すときは、キーを押して搬送させながら、引き抜く。



■ その他のこんなときには

電源が入らない

電源コードはしっかりとACアダプタに接続されていますか？
また、電源プラグは正しく、確実にコンセントに接続されていますか？
●8ページの手順2~3を参考に確実に接続してください。

電源スイッチはLOWまたはHIGHになっていますか？
●8ページの手順4を参考にしてください。

チューブがうまく搬送されない

チューブが熱で柔らかくなりすぎていませんか？
●外気温度に合わせた温度セットをしてください。いったん、電源スイッチをOFFにしてチューブが冷えたら、左のメモを参考に正しくセットします。

チューブは突き当たるまで押し込んでいますか？
●チューブは搬送ローラ2に突き当たるまで押し込みます。9ページの手順6を参考にしてください。

プリンタのフィード機能で排出／搬送できますか？
●11ページを参考にチューブを逆送り、または順送りしてください。

チューブが詰まっていますか？
●プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

きれいに印字できない

チューブはしっかり暖められていますか？
●外気温度に合わせた温度セットをしてください。左上のメモを目安に電源スイッチをセットしなおします。また、POWERランプが点滅している間はチューブウォーマーがしっかりと暖まっていません。ランプが点灯に変わってから印字してください。

チューブが熱で柔らかくなりすぎていませんか？
●外気温度に合わせた温度セットをしてください。いったん、電源スイッチをOFFにしてチューブが冷えたら、左上のメモを参考に正しくセットします。また、チューブはチューブウォーマーが暖まったらなるべく早く印字するようにしてください。

Memo

外気温度が約15℃のときは電源スイッチを「LOW」の位置に、外気温度が約5℃のときは「HIGH」の位置に合わせます。

Memo

チューブの外径によっても暖まりがかたが異なります。チューブによって設定を変えてみてください。

チューブが汚れている

チューブクリーナが汚れていませんか？

- 14ページを参考にチューブクリーナを清掃してください。

チューブを取り出せない

プリンタのフィード機能で排出／搬送できますか？

- 11ページを参考にチューブを逆送り、または順送りしてください。

チューブが詰まっていますか？

- プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

POWERランプがまったくつかない

- 電源コードやACアダプタが正しく接続されている状態で、電源スイッチをLOWまたはHIGHにしてもPOWERランプが点滅も点灯もしないときは、いったん電源スイッチをOFFにしてから、再度LOWまたはHIGHにしてみてください。それでもなお、ランプがつかない場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて、お近くの販売店までご連絡ください。

メッセージが表示された

- プリンタ本体の取扱説明書をご覧ください。

5

お手入れ

チューブウォーマとチューブクリーナのお手入れ方法についてそれぞれ説明します。

■ チューブウォーマのお手入れ

プリンタ本体の性能を維持し、正しい印字を行うために定期的に清掃をします。チューブウォーマを取り出したら、水にしめらせて固くしぼったガーゼで表面についた汚れを拭き取ります。

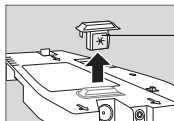
⚠ 警告

清掃するときは電源スイッチをOFFにし、ACアダプタのプラグを電源コンセントから抜いてください。

アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は絶対に使用しないでください。表面処理を傷めるだけでなく、溶剤が内部の電気部品に触れると火災や感電の原因となります。

■ チューブクリーナのお手入れ

チューブウォーマにはチューブ表面に付着した汚れを除去するチューブクリーナが装着されています。チューブの汚れが落ちにくくなったら、図のようにしてチューブクリーナを外し、清掃してください。



チューブクリーナ

Memo

チューブクリーナは消耗品です。清掃しても汚れが落ちにくくなったら新しいものに交換してください。詳しくはお近くの販売店にお問い合わせください。

6

おもな仕様

入力電圧	AC100V～240V 50/60Hz (ACアダプタ使用)
消費電力	8W
温度調節範囲	約60～80℃ (電源スイッチの切替による)
ウェイトタイム	120秒以下 (外気温度5℃、定格入力電圧時)
外形寸法	96mm (奥行) × 148.5mm (幅) × 23.8mm (高さ)
質量	約100g
適用チューブ	φ2.5～φ6.5mm (市販品)
使用環境	温度5～20℃ 湿度15～80%RH (ただし、結露が発生していないこと)
保管環境	温度5～35℃ 湿度10～80%RH (ただし、結露が発生していないこと)

- 本書に記載されている一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書に記載されている内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品でお客様の不適当な使用により生じた損害、または改造・変更されたこと等に起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不備な点や記載もれ、また、お気づきの点がありましたらお近くの販売店までご連絡ください。